

1. 保健環境学習室「まもる一む福岡」

保健や環境に関する情報の提供と学習の場として、こどもから大人まで楽しく学べる保健環境学習室「まもる一む福岡」を保健環境研究所に併設している。

平成 25 年度来館者数は 12,052 人(24 年度比 119%)であった。

来館者 人数	大人・子ども別内訳		団体・一般別内訳	
	大人	子ども	団体	一般
12,052	5,616 人	6,436 人	4,671 人	7,381 人

映像・音声や実験などを体験しながら学ぶ『体験学習ゾーン』およびパソコンや展示物を使って学ぶ『研究学習ゾーン』において情報の提供等を行っている。体験学習ゾーンではヒナモロコヤカブトガニの飼育展示も行っている。

1)映像施設「ガイア」

利用者数

回数	人数
194 回	3,567 人

プログラム おなかを痛くする悪いやつのお話 海の色のみみつ 私たちの吸っている空気
この音 何のおと? 「リデュース」ってなあに?? おうちがなくなる
野鳥の森へピクニック(福岡の鳥) クロツラヘラサギ福くんの冒険
エネルギーのない世界 辛子めんたいこって何でできているの?

2)ミラクルラボ体験教室

利用者数

回数	人数
289 回	4,264 人

プログラム あなたの手洗いチェックなど保健衛生実験 パックテストで水質を調べようなど科学実験

3)工作教室

利用者数

回数	人数
37 回	577 人

プログラム マグネットをつくろう! 潜水金魚をつくろう! など 科学工作
牛乳パックで箸おきをつくろう! ペットボトル顕微鏡をつくろう! など リサイクル工作

4)エコキッズスクール

利用者数

回数	人数
12 回	775 人

プログラム 専門家を招いて、超低温の世界を体験したり、希少な生物について学ぶなどの講座



エコキッズスクール風景

5)夏休みまもる一む子どもクラブ

夏休みの特別企画として、「夏休みの自由研究はこれだ！」をメインテーマに映像の視聴，工作，観察・実験で構成する小学生向けの講座を行った。延べ参加人数は，52人であった。

Aコース 対 象 小学1年生～3年生
 テーマ いきものについて勉強しよう！

	日 時	内 容	参 考
第1回	8 /5 10:30-11:30	外来生物のお話「おうちがなくなる？」	映 像
第2回	8/12 10:30-11:30	種が飛ぶしくみ「アルソミトラグライダー」をつくろう！！	工 作
第3回	8/19 10:30-11:30	いきものを見てみよう！	顕微鏡観察

Bコース 対 象 小学4年生～6年生
 テーマ エネルギーについて考えよう！

	日 時	内 容	参 考
第1回	8 /5 14:00-15:00	再生可能エネルギー「エネルギーの無い世界」	映 像
第2回	8/12 14:00-15:00	燃料電池を作ろう！	工 作
第3回	8/19 14:00-15:00	エネルギーを（作って）体験しよう！	実 験

2. インターネットによる情報提供

保健環境研究所のホームページの中で、業務の紹介や所報（38号）のWeb版のアップ等を行うとともに、各課が取り組んでいる調査研究や試験検査等で得られた環境や保健衛生に関する各種情報を提供した。

海・川と大気を守ります	（環境科学課（環境科学））
<p>◎環境探偵の事件簿（苦情事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の色が鮮やかなコバルトブルーに ・油あげ・・・どんぶらこ ・川魚大量死の謎 ・床下のトルエンがとれ～ん！！ ・赤水黒水事件 ・黄色い雨！？ ・ナマクさい井戸水の怪 ・川に出現した虹色に光る油膜・・・！？ ～鉄バクテリア～ ・エイリアン襲来？ ・謎のドラム缶 ・石綿で赤面！ ・泡だらけの川 ・天神悪臭事件の怪 ・海面に浮かぶ帯状白濁のナゾを追え！ <p>◎きまぐれ日記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士の有毒ガス研修 <p>◎福岡市里川写真集</p> <p>◎Q&A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境生物 ・博多湾 ・ダイオキシン ・アスベスト <p>◎環境関係リンク集</p>	
からだと健康を守ります	（保健科学課（微生物））
<p>◎微生物の豆知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の細菌検査 ・腸管出血性大腸菌感染症 ・エイズ ・無菌性髄膜炎 ・Q熱 ・消毒について ・カンピロバクター食中毒とギランバレー症候群 ・細菌性赤痢 ・性器クラミジア感染症 ・流行性角結膜炎 ・カビについて <p>◎福岡市の感染症情報（リンク集）</p>	
食物の安全を守ります	（保健科学課（理化学））
<p>◎食品添加物の一日摂取量調査</p> <p>◎残留農薬の一日摂取量調査</p> <p>◎気をつけたい身近な自然毒</p> <p>◎食品衛生情報（情報誌 Le Message [メッセージ] 掲載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物 ・異物混入 ・残留農薬，動物医薬品 ・遺伝子組み換え食品，食物アレルギー ・自然毒による食中毒 ・その他 	
循環型社会をめざします	（環境科学課（廃棄物））
<p>◎業務紹介</p> <p>◎夏休み子ども体験学習会</p> <p>◎調査研究紹介</p> <p>◎学会・雑誌などへの発表抄録</p> <p>◎出前講座 「リサイクル実験講座」実施しています（福岡市 出前講座）</p> <p>「廃油でキャンドルをつくろう！」，「牛乳パックではがきをつくろう！」</p> <p>「発泡スチロールのリサイクル実験！」，「お弁当の空容器でキーホルダーをつくろう！」</p> <p>◎新着情報</p> <p>◎廃棄物，環境関係トピックス</p>	

3. 夏休み子ども体験学習会

夏休みの学習イベントとして、各部門において小学4～6年生を対象に「夏休み子ども体験学習会」を実施した。

題名	第19回 夏休み子ども体験学習会
日時	平成25年7月26日(金) 14:00～15:30
場所	福岡市保健環境研究所・臨海工場
対象者	福岡市内在住の小学4～6年生
参加人数	1コース 12人 2コース 10人 3コース 6人 4コース 9人
学習内容	<p>1コース <きみも科学者だ！～オリジナル芳香剤を作ってみよう～></p> <ol style="list-style-type: none"> 身の回りのさまざまな水について、パックテストを用いてCODを調べることで分析試験を体験するとともに、身近な水環境への関心を高める。 保冷剤を使ってオリジナルの芳香剤を作る。 <p>2コース <食べ物の色のふしぎに挑戦！></p> <ol style="list-style-type: none"> 紫キャベツから色素を取り出し、ジュースなどを加えたときの色の变化を調べる。 食品に使われている着色料について調べる。 <p>3コース <のぞいてみよう！！ミクロの世界！></p> <p>電子顕微鏡で身のまわりにあるものをサンプルとして前処理し、簡単な電子顕微鏡の操作を体験してもらい、サンプルの観察を行うことにより、ミクロの世界への関心や電子顕微鏡への知識を深める。</p> <p>4コース <見ようごみで発電！知ろうECO発電教室！体験するなら今でしょ！></p> <ol style="list-style-type: none"> 臨海工場探検 ごみで発電するしくみを学び、普段では見られないタービン室などを見学する。 発電実験 実験を通じてエコ発電について学ぶ。



1 コース



2 コース



3 コース



4 コース

4. 県内保健環境研究機関合同成果発表会

福岡県保健環境研究所，北九州市環境科学研究所とともに，平成 25 年度は本市が担当して生活に密着した環境・保健衛生に関する合同成果発表会を開催した。

開催日 平成 25 年 10 月 31 日(木) 13:30～17:00
 会場 福岡市市民福祉プラザ ふくふくホール
 プログラム

特別講演 環境保全と水族館
 (瀬海の中道海洋生態科学館 館長 高田 浩二)
 成果発表

【環境部門】

- ・微小粒子(金属類及び有機化合物等)による越境大気汚染の影響評価(福岡県)
- ・走査型電子顕微鏡で見る北九州市内の大気中粉じんの特徴について(北九州市)
- ・福岡市内に生息するセアカゴケグモの生態調査について(福岡市)

【保健部門】

- ・PCB 代謝物の分析法開発に関する研究(福岡県)
- ・ATP 法および LAMP 法を用いた浴槽水レジオネラ属菌の簡易迅速スクリーニング法の検討(北九州市)
- ・チャーシュー串及びチャーシュー丼を原因食品とするウェルシュ菌食中毒事例について(福岡市)



5. 出前講座

福岡市では，平成 13 年 11 月から市の担当職員が地域に出向いて，市の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明する「出前講座」を行っており，25 年度は 3 つのテーマで実施した。

25 年度テーマ	実施回数	参加者数
楽しい環境実験室	6 回	229 人
食品添加物の話	7 回	222 人
リサイクル実験講座	4 回	104 人

6. イベントにおける情報提供

平成 25 年 10 月 19 日・20 日に福岡市役所西側ふれあい広場で開催された「環境フェスティバルふくおか 2013」に出展し，環境関連情報の提供を行った。

コーナー	参加者数
いきもの観察コーナー (ゴケグモ，水生生物)	600 人
水の実験コーナー (パックテスト)	120 人
工作体験コーナー (草木染め)	240 人

7. 各区衛生課が実施するリスクコミュニケーション事業における情報提供

平成 25 年度は，市内 3 区の衛生課が実施するリスクコミュニケーション事業において食品の検査や調査・研究に関する市民・消費者への情報の提供や施設見学などに協力した。

区	事業名	主な協力業務	参加者数
博多区	食の安全安心探検隊	試買食品検査・施設見学など	13 人
南区	ため蔵食ゼミ	施設見学・検査体験支援など	12 人
西区	食の安全安心スクール	施設見学など	40 人

8. 施設見学・視察

区分	回数	延人数
議会関係	3 回	31 人
学校関係	3 回	491 人
計	6 回	522 人

9. マスコミを通じた情報提供

テレビ，新聞社等を通して，広く市民に環境や保健に関する情報の提供を行った。

期 日	内 容	取材機関
H25. 4. 3	小型家電リサイクル法の施行を受けての福岡市の対応について	NHK
H25 .8.28	保健環境研究所におけるセアカゴケグモの飼養調査について	テレビ西日本
H25.10.18	PM _{2.5} 成分分析等について	西日本新聞
H25.12.12	保健環境研究所におけるセアカゴケグモの調査について	NHK

10. 広報誌の発行

「ほかんけんだより」(第3号)を平成25年12月に発行し，研究所で行っている調査研究について情報を提供した。

掲載内容	トピックス	風しんが流行しています!!
	環 境	セアカゴケグモについて
	保 健	鶏肉に付着する食中毒菌を調査しています
	食 品	食品の『アレルギー表示』が正しく表示されているか確認しています
	廃棄物	鉄・アルミ以外の新たな資源回収に取り組んでいます